



すが、女子の場合は自分で食事の用意をしなければなりません。女子の環境は非常に厳しいし、選手生命が短い中で夢を追いかけています。ここで皆さんにお願いがあります。引退後のプレーヤーたちに就職先の考慮をしていただければありがたいです。

試合の話にもどりますが、女子チームの応援は女性が多いです。年代は40歳50歳台の方が自分の娘を応援する感覚でしょうか。実際に見るとテレビや雑誌で見るのとは全然違って、他のスポーツと違うのは選手との距離が非常に近いです。試合中の話し声も聞こえます。監督が指示を出している場面とか熱を感じることができます。

新潟県の小中学生は男女ともに全国的にバスケのレベルが高いので、どうしても県外の高校に行ってしまいます。杉山選手のように地元に戻って活動する選手を今後増やしていきたいと思っています。また金澤選手は水原体育館に勤務しています。オフシーズンには、阿賀野市の道の駅でイベントに参加したり交通安全のイベントに参加

したり子どもたちにクリニックをしたりしています。積極的に阿賀野市の皆さんに知ってもらいたい、応援してもらいたいと活動をしています。

創立記念例会

2月14日(水原ロータリークラブ FB より)

この度の創立記念には、第2560地区国際ロータリー、永年出席100%ロータリアン50回部門において、見事、62回を達成された、五十嵐弘行君から創立当時のお話を伺う機会させていただきました。また、地区内において62回の100%出席が一番と言う事で、皆さんでお祝いをさせていただきました。

出席することの意味を私たちに教えていただき心から感謝いたします。また、出席する事で共有する時間をいただき、相互理解、交流が生まれます。人と人の交流から生み出されるものは無限です。人生を楽しむという大事な源。出席という行動が無ければ何にもなりません。

水原ロータリークラブ総意において感謝の意を込めて中村会長から代表していただき、賞状、記念品、花束が五十嵐弘行君に贈呈されました。おめでとうございます！今後も明るく楽しく元気よく、誰も塗り替える事が出来ない記録を維持していただきたいと思います。

